

事務事業名		漁港災害復旧に伴う道路嵩上げ事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																				
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																					
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分																					
	基本事業名	01 生活道路の整備		期間限定複数年度																					
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入																					
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】																					
	課長名	長岩 智徳		令和2 年度～ 令和7 年度																					
	係名	土木係	電話	0192-27-3111																					
	担当者	及川 顕	内線	314																					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入																					
<p>細浦地区、越喜来地区、赤崎地区においては、漁港施設背後の嵩上げに伴い、高潮時や大雨時における道路の冠水や、水路の滞留等が恒常的に見られる。大雨等の際は水路部分で溢れ出し、水路周辺の土地の円滑な利活用を阻害している状況にある。</p> <p>本事業では、道路改良、水路改修(嵩上げ)を行い、細浦地区、越喜来地区、赤崎地区住民に安全に利用してもらうとともに、衛生環境を整えるものである。</p> <p>事業費は委託費、工事費、事務費として支出される。</p>				<p>全体計画(※期間限定複数年度のみ)</p> <table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>30,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>98,889</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,095</td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>135,984</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>11</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>2,024</td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>8,096</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>144,080</td></tr> </table>		国庫支出金	0	都道府県支出金	0	地方債	30,000	その他	98,889	一般財源	7,095	事業費計(A)	135,984	正規職員従事人数	11	延べ業務時間	2,024	人件費計(B)	8,096	トータルコスト(A)+(B)	144,080
国庫支出金	0																								
都道府県支出金	0																								
地方債	30,000																								
その他	98,889																								
一般財源	7,095																								
事業費計(A)	135,984																								
正規職員従事人数	11																								
延べ業務時間	2,024																								
人件費計(B)	8,096																								
トータルコスト(A)+(B)	144,080																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
越喜来地区の旧崎浜線の道路改良工事(嵩上げ)を実施。		ア	計画総延長
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
越喜来地区の旧崎浜線の道路改良工事(嵩上げ)及び細浦地区の道路改良工事(嵩上げ)を実施予定。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道 水路 周辺地区住民		名称	
		カ	整備済み延長(工事完了)
		キ	着手済み延長(設計・施工)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
周辺地区住民により安全に利用してもらう。 周辺地地域の衛生環境が改善する。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
安全に移動及び活動できる。 周辺地地域の衛生環境が改善される。		サ	事業進捗率 (整備済み延長/計画延長)×100
		シ	事業着手率 (着手済み延長/計画延長)×1
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	30,000
			その他	千円	0	19,889	19,000	28,886	30,000	0
			一般財源	千円	7,095	0	0	0	0	0
			事業費計(A)	千円	7,095	19,889	19,000	28,886	30,000	30,000
			正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	184	368	368	368	368	368
			人件費計(B)	千円	736	1,472	1,472	1,472	1,472	1,472
			トータルコスト(A)+(B)	千円	7,831	21,361	20,472	30,358	31,472	31,472
⑤活動指標	ア	m	690	690	690	690	690	690		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	m	120	120	120	454	550	690		
	キ	m	434	487	487	690	690	690		
	ク									
⑦成果指標	サ	%	17	17	17	66	80	100		
	シ	%	63	71	71	100	100	100		
	ス									

事務事業ID	1704	事務事業名	漁港災害復旧に伴う道路嵩上げ事業
--------	------	-------	------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	漁港施設背後の嵩上げに伴い、高潮時や大雨時における道路の冠水や、水路の滞留等の対策として令和2年度より事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 整備により、安全・安心に利用できることで都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 被災に起因した整備であり、この事業により利用者が安全に利用できほか、衛生環境もよくなるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員での計画延長となっており、これ以上の成果向上が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 浸水、冠水により、安全で安心に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の「費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で来往していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公共物であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和7年度に事業完了予定。																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	当該事業は、道路利用者の安全確保のほか、沿線土地の利用促進にもつながる効果があることから、事業効果の早期発現に向けて事業を進めていく。